



いけだ 議会だより

No.137
令和5年1月25日発行



今年も元気に過ごせますように
「まゆ玉づくり」を行いました
令和5年1月12日 会染保育園 年小・年中組さん



12月定例会

- 令和4年度一般会計補正予算の目玉2p~3p
- 10議員が町政を問う(一般質問) 8p~15p
- 「来年度予算(事業)への提言書」への町回答 16p~17p
- 「来年度池田町予算に関する要望書への町回答 18p
- 明日の池田町のために「町議会議員」になろう!! 19p
- 町民の皆さんに聞く(窪田明彦さん) 20p



議会だよりをスマホで観る!
「議会だより」のQRコードを
スマホで読み取ると、
「議会だより」の
最新号がスマホで観れます。

新年のあいさつ

第二步を踏み出す年に



議会議長
矢口 新平

新春のお喜びを申し上げます。令和5年が池田町に住む人全員が昨年より良くなったと思われる年になるようお祈り申し上げます。

昨年は、コロナ禍3年目、ロシアとウクライナの戦争：良いニュースは少なかったと思われま。私達はどんな状態にあっても生きていかなければなりません。昨年の12月頃より徐々に経済も上向いているように思われます。自由に行動でき、マスクの必要がなくなることを願います。

今年4月は議会の選挙の年となります。新しい力を持った議員が生まれることを望みます。

また、池田町の財政も相変わらず厳しい状況であります。山積する多くの問題を一つ一つ乗り越えていけば、必ず明るい未来が開いてくると信じています。



一般会計補正予算第5号の目玉事業

10月18日の議会全員協議会で町から国交付金・補助金及び県補助金を用い、物価高騰対策として町民生活を応援する事業を実施したいとの協議がありました。議会は了承し早期支援を行うため専決処分としました。その内容が承認案件(一般会計補正予算第5号)として今議会に提出され承認しました。目玉事業は下記のとおりです。

全町民に5,000円の商品券支給事業

5,100万円

〔財源〕 国交付金(地方創生臨時交付金)



住民税非課税世帯への5万円給付事業

5,420万円

〔財源〕 国補助金

生活困窮世帯への3万円給付事業

965万円

〔財源〕 県補助金

住民税所得割非課税世帯へ給付する



肥料等高騰対策事業

770万円

〔財源〕 国交付金(地方創生臨時交付金)

飼料・肥料の高騰に対する各農家(畜産・水産・水稻・園芸など)への支援



12月
定例会一般会計
補正予算
第6号の
目玉事業

● 12月定例会の概要

12月定例会は12月8日から19日まで開かれました。承認1件、一般会計補正予算など議案15件、同意1件、議会議員の定数改正条例など発議2件を審査し、全て原案どおり議決しました。陳情1件を審査し意見書を国の関係機関に提出しました。

コンビニ交付システム
導入経費

583万円

財源 一般財源

4月以降、コンビニのマルチコピー機にマイナンバーカードと4桁の暗証番号を入力すれば、全国のどこのコンビニでも住民票と印鑑証明書の交付が受けられる「交付システム」導入に要する費用。

ふるさと納税の
基金積み立て

2,064万円

財源 一般財源

本年度のふるさと納税が1億3千万円程度見込まれるので基金に積み立てる。



除雪費

1,050万円

財源 一般財源

民間事業者・自治会などに除雪を依頼する経費(950万円)及び除雪に必要な重機借り上げの経費(100万円)。

有害鳥獣(猪・鹿)
対策事業

550万円

財源 県補助金

県の有害鳥獣対策事業と連携して中鵜地区の電気柵未敷設の箇所(300m)を設置する。



光熱水費

1,900万円

財源 一般財源

町施設の電気代・灯油代などの高騰に対応する経費補正。



質疑

予算審査

ここが聞きたい

◎コンビニ交付システム導入予算について

問 なぜ今の時期に導入するのか。

答 今年度内に導入措置をとれば、国から経費の2分の1の交付金が出るためである。

問 ランニングコストや使用手数料は。

答 ランニングコストは年間187万円かかる。但し、本年度内に交付システムを導入すれば、3年間は国から2分の1補助となる。

使用手数料はコンビニ交付の普及促進のため窓口交付手数料より下げる方向で検討している。

◎マイナンバーカード交付予算(140万円)について

問 現在の交付率は。

答 53.6%位である。全国平均より少し下である。

問 交付率を上げると特典があるのか。

答 全国平均を上回ると補助金が増えるとの話があったがその後情報がない。

◎ハーブセンター2号館(野のかおり)のガスレンジ交換予算

(50万円)について

【説明】 ガスレンジが故障したので交換したい。

問 交換は良いが2号館は休業が多い。町として状況把握するなど対策が必要では。

答 事業者としっかり話し合い前進してもらいたいと思っている。



ハーブセンター2号館

◎除雪予算について

問 本来この予算は当初予算に計上するものでは。

答 財源不足のため12月補正で対応している。

【要望】 この予算は来年度から当初予算で組んで欲しい。

◎派遣業務による保育士補充(予算額89万円)について

【説明】 保育士の補充が困難なので派遣会社から保育士1名を3か月間導入したい。

問 町保育士が働き続けられる職場環境の整備も必要では。

答 体制を組んで取り組んでいきたい。



◎光熱水費の増について

問 光熱水費の高騰により予算増はやむを得ないが、光熱水費の削減を図って欲しい。

各課の室内温度を統一するなど取り組みを行って欲しいが。

答 庁議で検討していく。

【要望】 光熱水費を見直し節減を徹底して欲しい。

◎てるてる坊主応援(ふるさと納税)寄附金予算(4500万円)について

【説明】 今年度の寄付金総額は1億3千万円となる見込み。今回は2064万円を基金に積み立てたい。

問 事務委託料の総額は。

答 返礼品も含めおよそ寄付金額の半額である。

問 本年度の傾向は。

答 米の売れ行きが落ちている。

◎出産祝い金予算(30万円)について

問 今回15名の祝い金が予算化されたが本年度の出生児数は何名か。

答 40名である(昨年23名)。



◎中学校の部活動の地域への移行は。

問 今年も含め3年以内の移行が求められているか。

答 指導員の確保と財源が課題である。松川村などと協力して進めたい。

本会議質疑・討論

本会議 質疑

●議案 池田町一般会計補正予算（第6号）

問 電気代高騰に対応するためエネルギープロバイダーと交渉しているか。また、町として電気代節約のためにどのような措置を講じているか。

答 エネルギープロバイダーと電気代高騰を抑えていただくよう交渉している。また、昼休憩の時間は庁舎の照明を消すなど、各課に節減を呼びかけている。

本会議 討論

●議案「池田町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について」

●議案「池田町情報公開条例の一部を改正する条例の制定について」

●議案「池田町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について」

内容：令和3年成立した「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律（以降、デジタル関連法）」の施行にともない町の関係条例（個人情報保護条例など上記3条例）を整備する。

○審査結果 賛成多数で原案どおり可決。

上記3件とも
反対です

服部久子議員

個人情報保護条例の改正は国のデジタル関連法により国や自治体などが持つ膨大な個人情報を成長戦略のために企業が利用できるようする。そのことは個人のプライバシーを侵害し個人の不利益や官民癒着の拡大につながる恐れがあるので反対する。



発議 町議会議員定数条例の改正

内容：議員定数を12から11とする。

○審査結果 賛成多数で原案どおり可決。

反対です

薄井孝彦議員

議会・議員の役割は多様な町民の意思を町に伝え、行政のチェック機能を果たすことである。そのために一定数の議員が必要である。議員定数の削減は議会の機能を低下させるので反対である。

賛成です

矢口 稔議員

議員間の討論や町民の皆さんとの話し合いなど様々なプロセスを経てこの結論となった。苦渋の決断であるが、新たな池田町議会への一歩と信じ賛成する。

陳情

「安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書」

陳情団体：長野県医療労働組合連合会

内容：新型コロナ感染の拡大により「医療崩壊」・「介護崩壊」が起きている。この改善には医療・介護職員の増と待遇改善や病院・保健所の機能拡充が必要である。

○審査結果 全議員の賛成で採択

賛成です

服部久子議員

日本のケア労働者は長時間労働に加えて低賃金であり、なり手が少ない原因となっている。改善が必要なので賛成する。



主な議案の説明と 審査結果

12月定例会
提出案件

○…賛成 ●…反対

		審査結果	松野亮子	大厩美秋	中山 眞	横澤はま	矢口 稔	大出美晴	薄井孝彦	服部久子	和澤忠志	倉科栄司	矢口新平
承認	令和4年度一般会計補正予算(第5号)について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	北アルプス広域連合規約の一部を変更する協議について(平日夜間急病医療センターの廃止などにもなう規約変更)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	可決	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
	情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	可決	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
	情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	可決	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(国の法律改正に伴い、町職員の育児休業を取りやすくする)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	給水条例の一部を改正する条例の制定について(水道料金の不納欠損処理を行うための条例制定)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町道の路線の廃止について(会染西部ほ場整備にもなう町道廃止)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町道の路線の認定について(会染西部ほ場整備にもなう町道認定)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度一般会計補正予算(第6号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度水道事業会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度下水道事業会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度一般会計補正予算(第7号)について(人事院勧告にもなう人件費増への補正予算)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
同意	固定資産評価員の選任(密澤佳洋住民課長)につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について(議員定数1減の条例制定)	可決	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※矢口議長は表決には加わりません。

〈表紙〉

五穀豊穡(豊作)を祈る正月行事「まゆ玉づくり」…会染保育園では「今年も元気に過ごせるように」と「まゆ玉づくり」に取り組みました。写真撮りに保育室に入った

途端、明るく元気な歓迎の言葉をいただきました。“やりたいことをやらせている”という園長さんの方針で、伸び伸びと成長している園児の皆さんに元気をいただきました。

10議員が町政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

ここが聞きたい
10人が一般質問を行いました

質問者	質問事項
矢口 稔 議員	<ul style="list-style-type: none">・一般質問 その後どうなったのか具体的に聞く・地域の人々の活躍の場「人材バンク」の再構築を
服部久子 議員	<ul style="list-style-type: none">・子どもの医療費窓口完全無料化を求める・学校給食費の無料化を求める・社口原地区の農地活用について
薄井孝彦 議員	<ul style="list-style-type: none">・松本盆地の地下水資源保全に向け、町としてアルプス地下水保全対策協議会に提言を・町の景観の良さを活かすレンタサイクルの推進を・バス停まで歩けない人への移動手段確保に調査・検討を
中山 眞 議員	<ul style="list-style-type: none">・甕町長諮問の行財政改革推進委員会 第一次から第五次答申を受けての町長の受け止め方と今後の展望を問う・町長諮問の農業振興協議会の中間答申の捉え方は
大出美晴 議員	<ul style="list-style-type: none">・燃えるゴミ削減に向けた取り組みについて・北保育園とかえで東側の商業スペースの在り方について・自治会要望に対する町の姿勢について
大厩美秋 議員	<ul style="list-style-type: none">・移住定住促進に向けた取り組みについて・町内商工事業所との関りについて
倉科栄司 議員	<ul style="list-style-type: none">・職員の勤務状況と健康管理について・創造館の外トイレの改善について
横澤はま 議員	<ul style="list-style-type: none">・「魅力あふれる美しいまちを目指す」安定した行財政運営を
和澤忠志 議員	<ul style="list-style-type: none">・池田町農業振興協議会からの答申について
松野亮子 議員	<ul style="list-style-type: none">・学校給食での有機米の扱いと今後の有機農業推進について・PET ボトルの健康影響に関する情報提供について



人々の活躍の場「人材バンク」の再構築を

矢口 稔 議員

問 今年の「みんなの文化祭・芸能祭」も無事に終了した。高齢化やコロナ禍の影響もあり、内容は素晴らしかったが例年よりもボリュームの面で少しさみしかったということも聞かれた。もう一度町民活動グループの把握と共に、それぞれの活動を支えるしくみが必要だと思う。今、人材バンク（※）の再構築を幅広い世代で行うべきだと思うが町の対応は。

※公民館活動を支援する人材

答 今年の文化祭はメンバーの高齢化により活動を終了した団体など出展を見合わせた団体があった。来年度一覧表データの更新調査を行い、引き続きグループの活動を支えていきたい。

学校・保育園への支援は

問 昨年度から本格的にコミュニティ・スクールが始まった。今後の活動には人材の情報が不可欠、グループのみならず、地域に根ざした活動をしている個人の方や学校を直接支援していただける方などの生きた情報が必要だと思うが。

答 現在でも公民館の人材バンクなども機能を果たしているが、今後も多く



子どもの医療費窓口完全無料化を求める

服部久子 議員

問 県は子どもの医療費無料化補助を小学3年生まで拡大した。町の負担軽減は160万円になる。軽減分を活用して、自己負担金500円を無料にし、子どもの医療費窓口完全無料化を求めるが。

答 自己負担金を無料にすると、町負担が340万円かかる。財政危機のもと実施は困難である。

問 町民の負担を少しでも軽くなるよう自己負担金を300円に減額すれば町負担は40万円で済むが。

答 自己負担金をやめる考えはない。

学校給食の無料化を求める

問 コロナ禍で学校給食の無料化が全国で進んでいる。県内でも22の自治体が無料化を実施している。学校給食を共同実施している松川村はすぐにも無料化を実施したい方針と聞いている。町の考えは。

答 松川村と共同事業なので歩調を合わせるが、時期及び負担割合は検討中である。

問 無料化の財源として、あづみ病院建設補助3000万円はあと2回で



高齢者でバス停まで歩けない人の移動手段確保を

薄井孝彦 議員

問 近年、高齢者で町営バス巡回線のバス停まで歩けない人が出てきた。町営バスに関するアンケート調査を行いデマンド（車で自宅の前まで送迎する）交通など対策の検討を。

答 アンケート調査を行い、庁内や地域公共交通会議で課題解決に向け検討する。

松本盆地と池田町の地下水保全対策の推進を

問 信州大学の中屋真司教授（以降、教授）は安曇野市の地下水保全対策を研究し、次のように提言している。

「松本盆地の地下水の保全にはそれぞれの自治体で地下水保全目標事象を定め、それを実現する地下水揚水量最大値を定めることが求められる」

松本盆地の地下水保全を図るため、アルプス地域地下水保全協議会（以降、協議会）で教授に講演いただき意見交換することを町から協議会に提言を。

答 必要な事なので協議会に提言していく。



車中泊で利用される道の駅駐車場



の人材情報を集約して役立てる。また、具体的なボランティア組織について各学校活性化委員会で検討していただくと共に地域に人材を広く募集していく予定である。

RVパークが事業化されていないが

問

以前の一般質問でRVパーク（車中泊ができる駐車場）の設置についての答弁は「年度内に『車中泊』可能な場所を設定したい」であった。現在ではコロナの影響で、RVパークのニーズが大きく拡大している。現在の進捗状況は。

答

調査を行ったが、町の財政状況も考慮しRVパークの設置は考えていない。

問

事業化しないという説明がない。実施計画にも上がっており、毎日数台のキャンピングカーが道の駅で車中泊しており、そのニーズは近隣でも増大している。考え直して欲しいが。

答

できない報告をしなかった事はお詫びする。町が設置すると責任が生まれてくるので慎重に検討していきたい。

終わる。その間はふるさと納税を活用してはどうか。

答

議員提案も含め十分検討していく。

社口原地区の農業活用について

問

農業振興協議会の中間答申で今年度中に社口原を含めた池田町の農地集積と農業経営法人を作るとある。見通しは。

答

現在検討中である。

問

社口原と池田町全体の農業経営とは別に考えたらどうか。

答

町の農業の担い手は将来いなくなる。分けて考える状況でない。

問

散布があり、農薬飛散の心配と地下水利用世帯への地下浸透の心配がある。町は「オーガニックビレッジ」を目指している。社口原を有機農業用地とし、担い手に地域おこし協力隊を募集しては。

答

農薬は「農薬取締法」で安全が確保されている。農薬散布の場所から緩衝帯をとるので

飛散の可能性は少ない。地域おこし協力隊も含め人材を検討する。



おいしい給食
うれしいな



問

町の地下水保全のため池田町としても地下水保全目標事象を定め、地下水揚水量最大値の設定をすべきでは。

答

設定の調査研究費が多額となることから現状では実施する考えはない。

町の景観の良さを活かすレンタサイクルの推進を

問

本年3月定例会の私の一般質問でレンタサイクルを活かした観光施策を問い、町は「本年度から実施する」と回答した。進捗状況と今後の取り組みは。

答

観光協会では関係者と随時協議しているが、数回の貸し出しに留まっている。今後は情報発信に努め、観光協会や協力店の意向を尊重しながら進めていく。

問

町・観光協会・自転車店・コンビニ店などの関係者の会議を開き、看板設置なども検討し進めるべきでないか。

答

町自転車推進計画が決まれば検討する。



更なるレンタサイクルの見える化を！
安曇野市のレンタサイクル看板とスタンド





「行財政改革推進委員会」と「池田町農業振興協議会」の町長の受け止めは
中山 眞 議員

問 各方面での町長発言から、財政状況の受け止め方に疑問がある。財政危機は脱したと考えるのか。

答 公的な関係機関から意見を頂き精査をしているが、それぞれの自治体の受け取り方にある。今後の事業等を考えるとして引き続き厳しさを考える。

問 町長の考える財政再建と何か。脱却点はこの時点と考えるか。

答 どの指標を以て健全かそうでないかを判定するのは難しい。財政は常に動いているので一時点をとっての評価はできない。財政危機の脱出の時点も同様に明確に示すことはできないと考える。

問 行財政改革推進委員会第1次〜5次答申の町長の捉え方と改革プランは。

答 十分精査しロードマップにて示したい。

問 改革プランを実行する第三者機関の検証委員会設置の考えは。

答 委員会からの答申事項への対応は各項目をロードマップで示したい。いづれも検証は行っていくが、方法については未定である。最終答申を受けて、その検



燃えるごみ削減に向けた取り組みについて
大出美晴 議員

問 町民一人当たりの燃えるごみを出す量を抑えるための施策は。

答 生ごみや草・落ち葉についての堆肥化など有効な手段はある。しかし、仕組みづくりなど課題があり、現状は困難である。町民が日ごろから意識し取り組むよう啓発に努めたい。

問 燃えるごみ袋の価格決定方法と処分費に対する負担割合はどうなるのか。

答 燃えるごみ専用指定ごみ袋の「標準小売価格」の表示は原材料費高騰等により廃止した。販売価格についてはそれぞれの小売店が決定している。一般廃棄物処理手数料は変動していないので町民負担は変わらない。

問 旧北保育園とくえて東側の「商業エリア」の在り方について

答 旧北保育園と「商業エリア」は有効利用するのがあるいは売却するのかもしれない。一度町長に聞く。

問 旧北保育園は撤去の予定であるが、撤去費用が高額のため直ぐではないが着手する。将来的に若者向け住宅にする考えである。また商業エリアについては、



移住定住促進に向けた取り組みについて
大厩美秋 議員

問 移住定住の取組みのなかで、池田町の紹介動画「いけだにいけば」が6作品配信(YouTube)されている。視聴回数増加への取組みは、また移住ガイドブックの有効活用は。

答 視聴回数にばらつきがある。視聴者の分析など関心を持たれる研究を行う。

問 ガイドブックは「ふるさと回帰支援センター」と連携し、東京・名古屋・大阪など各所に置いていただいている。近隣ではJRの駅、他にはセミナーやイベントなどで配布をしている。

問 移住者にとって有難い「移住準備住宅」が2棟あり、第6次総合計画ではR5年度に5棟を目標としているが必要性は。

答 応募者多数により町で選考し入居者を決定している状況である。需要の調査をしながら増やしていきたい。

問 多様な取組みを行っているが、今後の取組みと課題は。

答 何かに焦点を絞った取組みが必要であり、他の自治体に無いものをPRしたい。課題は移住者の受け皿となる住宅

証方法が盛り込まれると思うのでその時点で検討する。

問 財政再建策を町民に説明する必要があると思うが。

答 財政シミュレーションを作成し、再建策を説明する機会を設けたい。また、広報やホームページ等でも情報発信したい。

問 農業振興協議会の中間答申をどう受け止めているのか。

答 答申内容を参考にしながら、町としてどのような方向が良いのか十分検討したい。



町行財政改革推進委員会の第一次答申を受け取る甕町長
(2021年11月8日)



前回全協で出た意見を参考に公募の方向で議会に諮る。

自治会要望に対する町の姿勢について

問 自治会要請に対する予算はどうなっているのか。要求が通るか通らないかで自治会の存在価値が違ってくる。自治会離れの要因の一つもそこにあるのでは。

答 予算は10月現在で3500万円である。自治会要請の3割強が県や公安委員会に頼むハード関係である。優先順位や危険度を勘案しつつ実施している。また自治会離れの件は課題になっている。役員の負担や自治会のメリットが感じられない等意見が出ている。今後、役場からの依頼する内容を精査し、できるだけ負担が少なくなり、自治会本来の仕事に専念できるよう検討していく。



生ごみ処理機



が少なく、空き家バンクへの登録数が伸びない。空き家の利活用にも力を入れたい。

商工事業所との関わりについて

問 商工事業所の状況をどのように把握しているのか。

答 経営状況などについては商工会や観光協会と連携し把握している。円卓会議小委員会でも把握していきたい。

問 農業従事者と同様に、商工事業者を対象に意見交換会の開催も必要と考えるか。

答 商工事業者の声を聞くことは重要と考えるので行なっていきたい。

問 商工業への各種助成制度が一覧で分かるようにホームページを改善してほしい。また商工会のHPにも掲載の協力をお願いする。

答 調査を行い分かりやすいように改善をしたい。商工会にも連携できるように進めたい。



都市圏へも配布されている！
移住ガイドブック





**職員の勤務状況と
健康管理について**

倉科栄司 議員

問 現在の職員の休暇（産休・育休・療養休暇等）取得状況と取得期間を聞きたい。

答 現在育児休業が8名、療養休暇が3名であり療養休暇の取得期間は2か月から半年の期間である。なお直近まで療養休暇を取得していた職員もいる。

問 行財政改革を推進するなかで職員が減少し職員の業務負担が増えると共に、休暇等も取得しづらく心身に影響が出てきていると思われる。職員の減少に対して町長は会計年度任用職員を補充して対応していくとしているが、制度改正に伴い任用職員の経費は正職員と同様に経常経費に算入され経常収支比率が上昇する要因となる。職員の減少は適正な人事配置によりある程度の対応が可能なので、課・係の状況と職員の状況を常に把握していく必要があるかどうか。また、職員の健康管理は。

答 会計年度任用職員については人件費に反映されるので、最小限の必要性を吟味しながら採用を検討している。また、職員の人事配置は時期を選ばず業務や職員の状況に応じ人事異動を実施している。健康管理は保健担当者により健康状況



安定した行財政運営の推進を

横澤はま 議員

問 財政の健全化をめざすロードマップはどのような内容か、また何年に健全財政になるのか。

答 今年中に示したい。多岐にわたるので十分精査しマップに落とし込む。また、一時点での指標を以て健全であるとの判断は出来にくい。

問 健全財政への取組にどのような取組をするのか。原因・結果・改善策をまとめ、一般的な広報でなく町民に分かりやすい説明や情報提供をしてほしいが。

答 情報発信は引き続き広報誌やホームページ等を通じて行っていくなかで、わかりやすい発信方法を研究し実施する方向で検討したい。

問 財政危機脱却の具体策は。

答 大型事業は財政シミュレーションをしっかり立てる。公共施設の老朽化対策は個別計画に添って計画的に推進していく。今後「計画的で健全な財政運営」を進めながら、引き締め体制を継続し、可能な限り当該基金の積み増しをしていきたい。新年度予算編成では大事業の財政をどのように捉え、編成していくのか。



農業振興協議委員会からの中間答申の取り組みについて

和沢忠志 議員

問 答申は社口原農地の再生と町の農業振興のために公社設立と農業経営を行う新農業法人の設立を求めているが、非常に厳しく重い答申内容と感じた。町の考えは。

答 答申の内容を見ると、大変厳しく重い内容であり簡単に結論が出せるものではないと考えている。現在、あらゆる角度から精査検討しどの様に具現化できるのか研究を進めているところである。

問 どのような体制で進めているのか。

答 振興課を中心にプロジェクトチームを作り対応している。新農業法人設立についての考えは。

答 現在構想が固まっていないのでお答えする事は出来ない。公社設立は町のやるべき仕事として詳しくは触れていないが、考えは。考えは纏まっていない。

問 この答申内容での町負担はいくらになるか。建物が建設されれば当然町が上下水道を引くのは町の責務と考えてい

のチェックや対応をとっている。

問 9月の一般質問の際当時の副町長は限られた職員で行政を執行するため、部署経験者が支援に回るなど全庁ワンチーム的な体制を作りたいたして、これを実現するには職員数にある程度の余裕が求められる。行財政改革を推進し職員数を減少しその減少分に対して会計年度任用職員を採用すれば経常収支比率が上昇この状況は諸刃の剣となる。職員数の減少が過剰な業務負担を生むとともに休暇等が取得出来ず、心身に影響を与えて療養休暇に入る負のスパイラルを起している。将来の役場の人事構成上からもまた職員の健康管理を十分行うためにも、どこかで折り合いをつけ新たな職員の採用も考慮しなければならぬと思うがいかがか。

答 行財政改革を推進しながら適正な職員構成上からも来年度は新規採用を募集していく。

創造館の外トイレの改善について

問 平成28年6月の一般質問で公共施設の外トイレも洋式化を求め、創造館の現場視察のおり創造館の外トイレの洋式化が済んでいなかった。改めて洋式化改善を求めるが。

答 担当課から予算要求がなされれば町として要求に応じ年度内に洋式化を実現していきたい。



答 大型事業の財源は現在未確定の部分もあり、費用面、財源面とも検討中である。事業内容が固まってきたら議会にも諮り、方向を定めていきたい。

問 「魅力あふれる美しいまち」を目指すリーダーとして、安定した行財政運営にどのような舵取りを行うのか。

答 大型事業は長期の見通しが重要と考える。将来を見据えしっかりとした財政シミュレーションを見立てることが求められるがその通りに行くとは限らない。計画が発生、変更するつど財政への影響を考慮し組み直していく。それが適切かはその時々判断になると考えている。

問 新たな行財政改革推進委員会（仮称）を立ち上げ、評価・検証・改革・改善に繋げていく議論の場が必要である。町の考えは。

答 どのような形で検証するかは未定であるが、しっかりと検討していく。

表 公債費(借金返済費)と実質公債費比率(公債費/町標準財政規模)の推移

	公債費(億円)	実質公債費比率(%)	備考
H27	4.4	5.2	
H29	5.2	8.8	
R1	5.8	11.8	
R3	5.7	12.6	
R5	6.8	14.3	町の見込み
R7	6.5	16	町の見込み

参考 町行財政改革委員会資料
実質公債費比率が18%を超えると起債するのに県の許可が必要となる。



ると答申しているが。

答 まだ考えが固まっていないので回答出来ない。

問 新農業法人を設立し運営は全ての責任を持って行うとし、農協のスーパーL資金※を利用し運用資金を確保していく計画だが考えは。

答 考えが決まっていないので答えることはできない。

問 町民にどの様に伝えていくのか。

答 内容が固まり次第報告会を開催していきたい。

問 農薬使用については、社口原及び平地のリンゴ、アスパラの消毒についても問題がないよう進めるべきと考えるが。

答 農薬問題については今後連携を密にしながら問題が無いよう対応していきたい。



耕作維持が求められる社口原
※スーパーL資金説明:認定農業者が、農地取得や農業用設備等に使える長期・低利の国庫資金





プラスチックの健康
影響に関する情報
提供について

松野亮子 議員

問

来年度より、サントリーによるペットボトルの水平リサイクルの取り組みに当町も参加する。プラスチックには、環境ホルモン作用など健康上のさまざまな問題があることが科学者により指摘されている。環境ホルモン作用がある化学物質は低用量で健康に深刻な影響を及ぼし、それらの物質に生殖毒性や子どもの発育に重大な影響を引き起こすことがわかってきている。プラスチックは劣化防止のために紫外線吸収剤、酸化防止剤などのさまざまな添加剤が使用されているが、添加剤の健康への悪影響がわかってきた。例えば、ペットボトルのキャップに添加されている紫外線吸収剤には免疫力を低下させる作用があるという。

コロナ蔓延で免疫力をあげるのが必要な時に、ペットボトル入り飲料の摂取によって、免疫力を下げているのは大問題である。人の血液からペットボトルの成分が検出されたという研究もある。

ペットボトルに限らず食品と直接接触するプラスチック製の食品容器や包装材は、含まれている化学物質が溶け出すおそれがあるため、健康が損なわれないよう食品衛生法で溶出量の上限が設けられている。ただその

「議員定数」議決までの経過

本議会で来年度から町議會議員定数を11とすることになりました。今までの経過を経過をお知らせします。

- 令和元年9月20日 議会改革検討委員会を設置し議員定数などの検討を開始。
- 令和4年1月27日 町行財政改革推進委員会第二次答申 議員定数10～11名を提言
- 令和4年5月27日 議員協議会:議員定数を12名から11名とすることを決定。
- 令和4年7月 議員定数に関する町民アンケート調査実施(81名から回答)
- 令和4年10月5日 議員定数に関する町民と議会の意見交換会実施(24名参加)
- 令和4年10月31日 議員協議会:議員定数を11名とすることを賛成多数で確認。
議長は両常任委員会に所属することとし、常任委員会の議員数は現行どおりとした。
- 令和4年12月19日 12月定例会 議員定数改正条例議案を賛成多数で可決。

《10月5日意見交換会で出された意見と議会の見解》

- 定数を減らすほど町民の声が届かなくなり、議会のチェック機能も低下するので定数は減らしてもらいたくない。減らし過ぎると問題なので1名減が良い。

【議会】人口減・町財政・行革委員会の答申・議会の役割・議員選挙になりやすくすることなどを総合的に考え1名減とした。

- 若い議員が少ない「いびつな議員構成」が問題である。議会の対策は。

【議会】生坂村は55歳以下の議員報酬を30万円とし、2名の新人議員(55歳以下)が誕生した。該当議員にはもっと働けと言ったプレッシャーがあると聞く。喬木村は夜間議会をしたが、議員は昼も夜も働くため負担が増え前回村議選では欠員となった。多くの町民の皆さまに立候補していただければと考える。

- アンケート結果では定数10名以下を求める数が多い。議会として1名減でいくのか。議会の考えは。

【議会】出された意見を参考に11月中旬に結論を出し、12月議会定例会で条例化したい。





健康に影響ありと言われているプラスチックペットボトル



問 サントリー社員による町内小中学校へ
の出前授業によりペットボトルの啓発
を図る計画が町にあるが、子どもたちにリサ
イクルの利点だけでなくプラスチックの有害
性に関する最新の科学的な知見も知らせ
るべきだと思いが教育委員会の考えは。

答 科学的な研究成果に注視し文部科学
省や厚生労働省の発表を踏まえ学校
教育での扱いを教員と考えていく。

問 プラスチック製品が直ちに有害という
ことではないが健康への影響も知らせ
ていきたい。

答 基準が健康を守るうえで十分かという点で
は疑問を持つ専門家は多い。
ゴミの削減も必要なので短期的にはプラス
チックのリサイクルも必要だとは思いますが、プ
ラスチックを使うことによる健康へのリスク
を知らせることなく、プラスチックのリサイ
クルを推進するのは、説明不足ではないか。
人の健康と環境への影響を考えると、プラス
チックはリサイクルではなく、元からの削減
が必要である。
町民の健康を守るために、ペットボトルを含
めたプラスチックの有害性についても町民に
知らせるべきでは。

町行財政改革推進委員会と議会との意見交換会を行いました

11月24日、町行財政改革推進委員会と議会との意見交換会を行いました。行財政改革推進委員会(以降、委員会)と議会からそれぞれの取り組みについて報告したのち意見交換を行いました。委員会から町財政の現状について下記の指摘がありました。

- ①令和3年度の経常収支比率が81.7%と改善したように見えるがこれは国交付金
が約2億円多く交付されたためであり、令
和4年度以降は再び90%に近づく。
 - ②財政を圧迫する借金返済の割合を示す
実質公債費比率は令和7年度16.0%ま
で上昇する。
 - ③基金は少し改善したが将来の備えには
程遠い。
また、委員会から議会へ次のような意
見・要望がありました。
- 32回の委員会を開き83項目の提言をし
た。町がどの程度受け止め改善されるの
か不安である。議会には財政チェックを
しっかりと行って欲しい。
 - どんな町づくりをするか、将来ビジョンに
基づき事業の優先順位の判断をして欲し
い。
 - 矢口議長は要望を真剣に受け止めて取
り組みたいと述べました。



表 令和3年基金ワースト順位

順位	町村	一人当たり基 金額(万円)	令和2年 順位
1	箕輪町	10.7	2
2	下諏訪町	11.6	1
3	高森町	16.1	5
4	小布施町	17.2	3
5	辰野町	18	7
6	松川町	18.4	6
7	池田町	18.8	4
8	南箕輪村	20.3	8
9	山之内町	21.9	9
10	飯島町	22.6	12
20	松川村	38.3	21

58町村平均 47.6万円

参考 町行財政改革推進委員会資料

への提言書」に対する町回答

(回答：令和4年10月28日、紙面の関係で一部省略)

9 自治会要望に基づいた予算計上を行うこと。

町回答 現場確認を行い緊急性などを勘案して優先順位を付け計画的に計上している。

10 農業振興について、池田町農業振興協議会の答申後も町の農業ビジョン・施策を討議する委員会を新たな人選で進めること。

町回答 人・農地プラン法定化にともない令和6年度末までに地域計画を策定する。その過程で担い手農家や農業関係者に参加いただき今後の農業の方向性を検討する。

11 ハーブセンターの下記の点について検討・改善すること。

①ハーブセンターの蛍光灯のLED化や内装改善について来年度予算化を図ること。

町回答 状況確認のうえ使用頻度や必要性など優先順位を定め修繕する。

②ハーブセンター施設使用料を基金として積み立てること。

町回答 今のところ基金の造成は考えていないが検討する。

③行財政改革推進委員会による指摘事項について改善措置を図ること。

町回答 農地法に抵触する恐れのある状態の改善に向け、10月中旬に地権者と協議を行い今年度中に改善する予定である。

④町観光協会によるハーブセンター周辺の管理委託を検討すること。

町回答 現指定管理者の期間が終了する令和8年度以降の運営に向け、選択肢の一つとして検討する。

⑤ハーブステーションの管理料を見直し管理委託の目的を明示して委託すること。また、目的実現の施策を明らかにすること。

町回答 引き続き花とハーブを知り学ぶ機会が創出されるよう委託する。指定管理料は見直す。

12 高瀬川左岸の松川地籍の火災消火活動について出動手当も含め池田町と松川村とでしっかりした協定を締結すること。

町回答 池田町、松川村、北アルプス広域消防本部と協議の場を設けて検討し必要に応じて協定を締結する。

13 小学校の観劇の保護者負担をなくすこと。

町回答 現行どおりの負担としたい。



蛍光灯のLED化が求められる
ハーブセンター南側シャワールーム

9月議会での「令和5年度予算(事業)」

1 庁舎の雨漏りなどの不具合について、早急に原因を究明し対応すること。

町回答 専門家に依頼し調査したい。宿直室の雨漏りは屋根防水シートの劣化により雨水が浸みこんだためと予想されるので防水シートの張り替えを来年度予算で要求していく。

2 北アルプス連携自立圏事業について議会が審議をする場がないので審議できる体制にすること。また、町の意見（病児保育の町負担金の軽減など）を反映していくこと。

町回答 議会の意見は自立圏の部会へ繋げて、検討していただく。

3 安曇野市長に町営バス運行協力金を要請すること。また、町営バスの停留所のアナウンスなどの要望が多いのでアンケート調査を実施すること。

町回答 安曇野市長には行政側からもお願いするが、話が進まないの議会からも働きかけをお願いしたい。町営バスの停留所のアナウンスは来年度予算に計上する予定である。アンケート調査は実施する。



明科線の町営バス
12月16日、町・議会で安曇野市・同議会に
運行協力金の要望書を提出

4 ゴミ減量対策に力を入れること。

町回答 リサイクル推進委員会で対策を検討している。町民の皆さまにご協力をお願いしていく。

5 中之郷地区の見晴らしワインロードの道路法面の草・木が見苦しい。至急対応を。

町回答 耕作者と協議中である。

6 会染西部地区ほ場整備事業の非農用地整備（案）を早急に議会に示すこと。

町回答 提示できるよう検討を進めている。

7 多世代相談センターなど町職員の業務量が著しく増えている係が見られる。各課・系の業務量をチェック・見直しを行い、適正な人事配置を行うこと。

町回答 限られた職員数で適正な人事配置を行う。職員の健康を配慮し会計年度任用職員を増員する場合もあることを理解願いたい。

8 物価高騰により住民生活は厳しくなっているので早めの経済対策など予算措置を行うこと。また、国の地方創生臨時交付金は町民要望が叶えられるよう配慮すること。

町回答 地方創生臨時交付金を活用し、商品券配布・畜農水産飼肥料等高騰対策などの物価上昇に対応する施策を実施予定である。地方創生臨時交付金の使途は町民・事業者の皆さんから要望がある。また、商工会などからも聴き取りし庁内選定会議で町民要望が叶えられるよう配慮している。

「令和5年度池田町予算に関する要望書」に対する町回答

(令和4年12月5日回答)

年度予算の策定期間に当たり策定上で留意して頂きたい事項、当面の重要事項について要望書とまとめ町長に提出しました。回答内容は下記のとおりです。



11月18日、矢口議長から
穂町長に要望書を手渡す

1 令和5年度予算は次の点に留意して策定を。

1) 町民生活を支援する予算編成を行うこと。特に、生活弱者の実態を把握し支援策を講じること。

町回答 町民生活を支援する予算編成としたい。

2) 厳しい財政状況を改善するため経常収支比率・実質公債費比率などの財政指標を好転させ、健全財政を目指す予算編成とすること。

町回答 財政状況改善に向けて実施した取り組みを堅持し健全財政を目指したい。

3) 財政調整基金に頼らない予算編成とすること。

町回答 財政調整基金を5億円保持した予算編成としたい。

4) 会染保育園・ほ場整備非農用地・社口原農地などの事業について、方向性を示し議会と協議すること。

町回答 なるべく早く方向性を示し議会と協議したい。

5) 庁舎建替えについて公共施設個別計画では明確な方針が示されていないので、検討委員会を立上げ、建替え場所・費用調達などの検討を始めること。また、来年度予算から庁舎建設基金を設置し、積立てる予算を編成すること。

町回答 来年度の独自基金の設定は考えていないが、今後、建て替え場所なども含め検討したい。

6) 行財政改革推進委員会答申を尊重し予算編成に反映すること。

①職員駐車場については令和8年度までの間、職員から使用料を徴収する予算編成を行うこと。

町回答 契約について検討したい。隣の町有地を職員駐車場にするなど職員から駐車料金を徴収しない方向で検討したい。令和5年度は前年度と同じ予算編成としたい。

②補助金についての答申を精査し、来年度予算に活かすこと。特に社会福祉協議会・商工会・観光協会への補助金については精査すること。

町回答 各種団体の補助金は精査したい。

③ハーブセンター東側のハーブ園管理の体制改善について議会に示すこと。

町回答 近日中に地権者と話し合い議会に示したい。

7) 令和5年度予算編成方針及び財政シミュレーションを早期に議会に示すこと。

町回答 予算編成方針は11月29日の議会全員協議会で示した。財政シミュレーションは農業振興協議会の答申に対する対応を検討した上で示したい。



管理体制の見直しが
求められるハーブ園

2 交流センター東の町有地は町なかの活性化として活用する当初の目的を踏まえ、将来の見通しを含めた活用方法を良く検討し、町民・議会の意見も聞き進めること。

町回答 11月29日の議会全員協議会で示したとおり用途指定による売却または貸付を行うため、公募型プロポーザル方式による民間事業者からの提案を募集したい。

明日の池田町のために「町議会議員」へのお誘い！

池田町議会議員選挙は4月18日告示、4月23日投票で行われる予定です。過去2回連続無投票選挙となっています。無投票で政策の議論がなければ町政に対する町民意識も希薄となり、町の活性化は望めません。明日の町づくりに「議会」はなくてはならないものです。多くの人の立候補を願い、議会・議員の役割、仕事などについてご案内します。

◎ 議会・議員の役割、仕事

- 議会・議員の役割は町長から提出された予算・条例などの議案を審査し、議決することです。議会議決なしには町長は予算や行政を執行できません。議会・議員は議案審査のなかで問題がないかななどのチェック機能を果たすことが重要です。
- 議会・議員は町民の皆さんの要望や意見、町の課題を把握し一般質問や委員会審査などで提言していくことも重要な役割です。そのための調査・学習や議会活動の様子を町民の皆さんに知らせていくことも求められます。
- 議員活動 年4回の定例議会（一定例会 10日～15日）、臨時議会（年数回）、議員協議会（月1回以上）議会全員協議会（年4回以上）、「議会だより」の編集（年4回発行、2年で半数交代）、町監査委員（1人）、常任委員会（総務福祉・振興文教委員会のいずれかに所属し、年間を通じて活動）各種会議・委員会（美術館・クラフトパーク運営協議会など）への参画（議員一人当たり13程度の委員会所属）
- 外部との関係：池田松川給食センター運営委員会・北アルプス広域連合議会・穂高広域施設組合議会に参画
- 議員報酬 月 189,400円 期末手当 4.62カ月分



◎ 町議会議員には池田町に3か月以上住み、満25歳以上などの要件で誰でも立候補できます。

あなたの「池田町を〇〇〇な町にしたい」という思いを議員になって実現しませんか。



訃報

那須博天 議員

那須博天議員(3期目)が令和4年11月25日に79歳で逝去されました。

那須博天議員は平成23年に初当選以来、振興文教副委員長を皮きりに副議長や議長(2期4年間)などを歴任され、本議会と町の発展に多大な貢献をされました。

特に議長就任時から議会改革に取り組み、町民の皆さんとの意見交換会の開催など議会活性化に尽力されました。その活動は全国町村議会議長会から「平成29年度町村議会表彰」として表彰されました。

常に深く物事を考え、議会の重鎮として行動されました。卓越した識見とはっきりとした態度で、時には厳しく行政を質した姿には議員のプライドを感じました。反面、仕事納めの議員による議場大掃除の際には自らついた餅を持参したり、役場庁舎の正月用門松を作成したりするなどこまめに働く、心優しい人でした。

ここに哀悼の意を表し、謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

町民の皆さんに聞く

シリーズ

— 第25回 —

編集委員が町民の皆さまにお聞きし、生の声を届けます。

池田町との出会い

松本に住んでいた私が池田にやってきたのはもう随分前になります。

池田町で開催される美術工芸展に出席することになり下見に訪れました。

2丁目の古久庄。何軒もの蔵の連なり。大樽。中でも男蔵の佇まいに圧倒されてしまいました。散歩してみると、あちらこちらに風情のある建物が。当時は高姫社も大角屋の蔵も存在していました。

信濃池田宿という宿場町に出会ったのはそんな具合でした。何回かの縁の後、広津に工房を構えることに



窪田明彦さん (二丁目)

経歴

- 無垢の家具を作りたくて松本技術専門学校に入学。その後、松本民藝家具で3年間修行し、独立。
- 松本市に工房を構える。
- 広津に工房を移転。
～父と母が相次いで体調を崩し実家に帰り介護の時を過ごす～
- 池田町2丁目旧吉野家書店跡の古民家を借り、セルフ・リノベーション。カフェ・ギャラリー シピリカを開く。
- コロナ禍に遭遇後スパイスカレーとRawsweetsの移動販売を開始、堀之内にて無肥無農薬の田圃を始める。
- 池田町2丁目カフェ・ギャラリー「シピリカ」店主 69歳

なって、通ううちにすっかり魅了された私は、いつしか古民家をリノベーションして、カフェギャラリーを開くことになりました。

池田で暮らし始めて

人口一万人に満たない池田町ですが西にアルプスを望み、広津・陸郷の山間部と高瀬川と並行して広がる田園地帯。二つを結ぶ会染・中島・堀之内など、美しく配置された素晴らしい景観の土地です。

この景観と自然から与えられた豊かさはここに暮らす私たちにとって非常に大切な財産だと思います。

守り育て、子どもたちに誇りを持って受け継いで行ってもらおうようにしていきたいと考えています。

微力ですが堀之内で無施肥・無農薬のお米とオーガニック野菜の栽培を始めたいです。

他の仕事をしながらなのでタイミングと手際の悪さで苦労していますが、安曇平を斜めに見下ろしながらとても楽しい時間を過ごしています。

都会の若者が池田で農業できるプロジェクトを自分の経験からですが、コロナ禍の今、都会を離れた

都会の若者が池田で農業できるプロジェクトを

自分の経験からですが、コロナ禍の今、都会を離れた

て農業耕作に憧れる若者たちに、空き家バンクと連動して賃貸の古民家と耕地を安価で供給して、耕作手ほだきを（なるべくオーガニックで）何年か続けて支援してあげるようなプロジェクトを町役場が核となつて進めてくれたらと夢見ています。

企業を誘致したり会社を起業したりといったことも必要かもしれませんが、でも未来あるアイデア溢れているが、お金がないといった若者たちが「ここでなら、

何か始められるかもしれない」という未来に対して希望を持てるような町にしていきたいと思っています。

シピリカを始めた時は寂しかった池田宿も今、色々な新しい動きが活発化しています。

「この町に住んでいて良かった」「この町に住んでみたい」そんな人が増えていくことを願ってやみません。



編集後記

新年おめでとうございませう。「議会だより」の編集もあと1号となりました。この間、分かりやすい「議会だより」づくりを努めてきたつもりですが、いかがでしょうか。ご意見・ご感想を議会事務局に知らせていただければ幸いです。今後は皆さんの声をもっと載り、皆さんと意見交換する議会活動を展開し、「議会だより」に反映できればと思います。

今、ロシアのウクライナ侵略により、世界・日本が更に戦争する社会になるのではと心配しています。軍備力の競い合いではなく、憲法9条の精神で話し合いによる外交力が求められていると思います。

町政では当面、実質公債費比率が18%をこえないよう慎重な財政運営が必要であり、議会の役割を果たしていきたいと思っています。

薄井孝彦

議会報編集特別委員会

- 委員長 薄井 孝彦
- 副委員長 大厩 美秋
- 委員 横澤 はま
- 委員 和澤 忠志
- 委員 倉科 栄司
- 委員 矢口 新平

次回議会だより発行は令和5年4月26日(水)を予定しています。ぜひ、御覧ください。